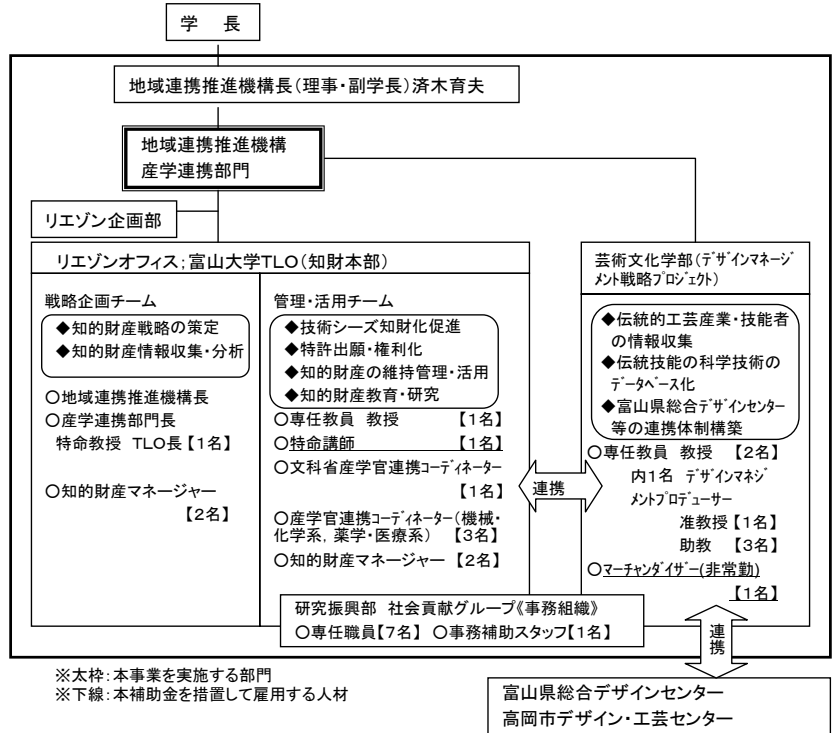


富山大学

○ 産学官連携体制図

大学等名：国立大学法人富山大学

・本部(センター)の構成概要
産業界との連携推進、技術系人材育成支援、知的財産の創出・取得・管理及び活用の促進などを一元的に行うことを目的として、地域連携推進機構に「産学連携部門」を設置した。そして、本事業の対象である伝統的技術を有する地場企業が高岡に集積している事、高岡キャンパスにある芸術文化学部がデザイン等に係わる研究・教育を行っており連携を密にする必要がある事を考慮して、高岡キャンパス内に本事業(通称TREC)の推進ベース(センター)を設置した。
また富山県総合デザインセンター及び高岡市デザイン・工芸センターが地元行政機関として実行委員会に参加する体制を構築した。



※太枠: 本事業を実施する部門
※下線: 本補助金を措置して雇用する人材

○ 成果事例

職人技のブランド化構想

大学等名 国立大学法人富山大学
機関名称 地域連携推進機構

要約

伝統技能の知財化により技能伝承・現代化・後継者育成を図るため、銅器を中心に地場産業、教育機関などを訪問して具体的な課題を検討し、京都、東北、イタリアの伝統産業を現地調査した。また、技能体系化の方法を検討するために梵鐘の音作りを科学的に解明する実験、現代化につながる新商品開発の方法を検討するために新商品のコンセプト作りを試みた。これらの活動を通して、文化的側面を含めてその価値を世間に広めつつ、職人技を絶やさないように維持することが急務であるという結論に達した。そのための方法として、商品よりも職人技にフォーカスし、文化的側面も含んだ職人技のブランド化構想を練り上げた。

職人技のブランド化構想へのプロセス



左) 技能体系化の方法を検討するための梵鐘の音作りを科学的に解明する実験において作成した小型梵鐘の試験体铸造
中) 現代化につながる新商品開発の方法を検討するために新商品のコンセプト作りにおける試作品の数々
右) 広報活動の一環として、職人技の価値の再認識および意識啓発を目指して発行を続けている広報誌「TREC」の三冊

創出

産学官連携のきっかけ(マッチング)

工芸都市高岡を支えてきた伝統工芸職人の高齢化および伝統産業の衰退のため、人材と技術の保護が急務である。

連携機関

- 高岡市 都市経営企画部都市経営企画課
- 高岡市 産業振興部産業企画課
- 富山県総合デザインセンター
- 高岡市デザイン・工芸センター
- 高岡地域地場産業センター

活用

技術移転の概要

職人技のブランド化構想

地域との連携、近代化された伝統工芸の創成をめざし、文化的側面より職人技の価値化(ブランド化)の構築のため工芸都市高岡と富山県総合デザインセンター、高岡市デザイン・工芸センター、高岡地域地場産業センターと持続可能な(技のブランド化)の構造を地域に設置する構想委員会(H22年4月設置)、準備委員会(H22年7月設置予定)の検討を開始した。

